

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|--|--|
| (整理番号) 142 | 提案機関名 畜産技術所 |
| 要望問題名 夏期受胎率の向上 | |
| 要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 年間の豚肉卸売り価格は大きく変動し、5月から7月に最高値の500円前後に、9月から11月には400円を割り込む相場となる。農家の豚1頭あたりの販売額は3万8千円から3万円を下回ることもあり、生産費が1頭3万3千円程度かかる現状では、9月から11月の出荷豚は赤字状態である。この原因は夏場の受胎率の低下と冬場分娩子豚の事故率増加が5月から8月期の肉豚の出荷頭数の減につながるからである。冬分娩の育成率の低下は、施設の向上で改善されつつあるが、夏場の受胎率は、温暖化の影響もあり低下傾向にある。 そこで、夏期受胎率向上を雄の精子の問題と雌受胎率の「両面を冷房装置を導入する積極的な環境改善」を含め検討してほしい。 | |
| 研究項目として 1 夏期環境改善と雄精子の性状改善 2 夏期受胎率改善のための種付け豚の管理 3 秋期夏ばて防止のための雄、繁殖雌の管理方法コスト分析(マニュアル化のための調査) | |
| 解決希望年限 | 1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/> |
| 対応を希望する研究機関名 | 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input checked="" type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター <input type="checkbox"/> |
| 備考 | |

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | | | |
|----------------|--|-------------|-------|
| 回答機関名 | 畜産技術所 | 担当部所 | 企画研究課 |
| 対応区分 | 実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可 <input type="checkbox"/> | | |
| 試験研究課題名 | (、 、 の場合) | | |
| 対応の内容等 | ご指摘のとおり、受胎率向上対策は今後の養豚経営において、重要なものになると考えられます。 夏期の受胎率向上対策として、ダクト送風やドリップクーラー等による豚体又は畜舎の一部を冷やす方法が行われており、今回要望されている、冷房を用いた受胎率向上対策についても、今年中国浙江省の養豚場で、種豚・母豚飼育施設にエアコンを導入したという新華社の報道もあります。また、換気なども含めた空調システムの取組事例も海外ではあるようです。 しかし、冷房に限らず、冬季も含め受胎率向上のための要因分析と総合的な対策が必要であると思われるので、冷房に限らず様々な事例を調査して取組可能な受胎率向上対策に関する課題の設定を検討したいと思います。 | | |
| 解決予定年限 | 1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/> | | |
| 備考 | | | |